第3次町田市地域福祉計画
町田市社会福祉協議会 第四次地域福祉活動計画
地区活動計画

2019年度版

10地区の話し合いから生まれたみんなが輝くまちづくり

みんなで支えあって いいこと ふくらむ まちだ

2020年3月

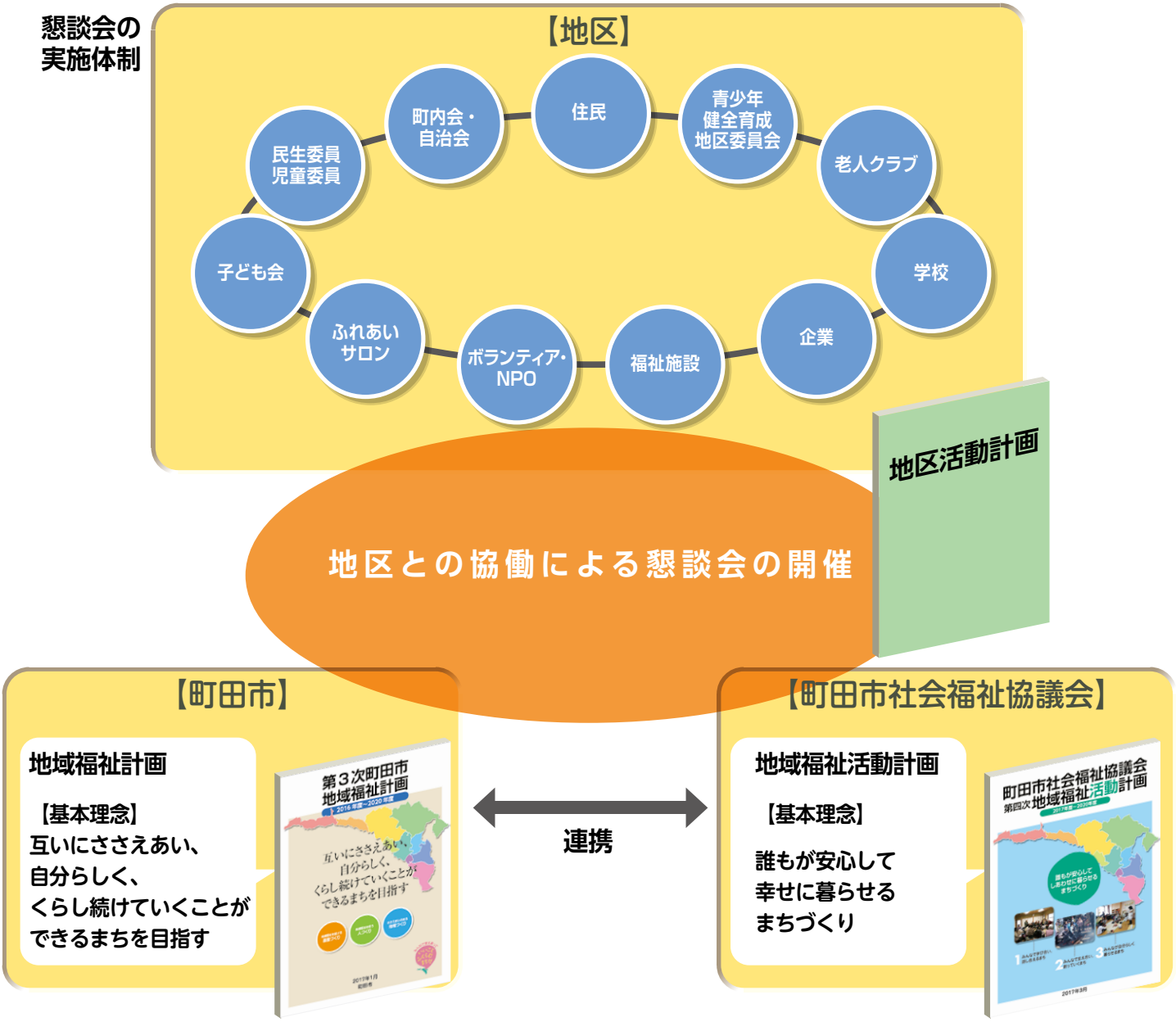
地区活動計画の考え方

地区活動計画2019年度版は、2019年度までに実施した地区別懇談会でのご意見をもとに、10地区ごとに今後の方向性と具体的取組を整理し、先進事例もあわせて掲載したものです。

町田市は、地理的な条件、住宅事情、活動している団体の数や種類、住民の年齢層や、意識など、地域による違いが大きいため、地域特有のさまざまな課題やニーズを抱えています。

こうした状況の中で、町田市の「第3次町田市地域福祉計画」と町田市社会福祉協議会の「第四次町田市地域福祉活動計画」の基本理念を実現するためには、両者が連携して計画を推進していく必要があります。さらに、住民自らが地域のことを考え、互いに協力し合いながら、「地域福祉」について考えていくことが求められています。

そのため、昨年度に引き続き、市内10地区で地区別懇談会を社会福祉協議会と市の主催（地区によっては関係機関・団体と共催・後援）で実施しました。



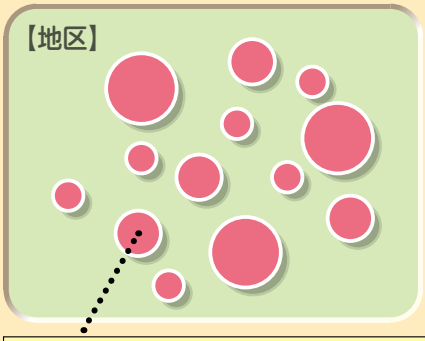
地区別懇談会の開催概要

地区名	日時		場所	参加者数
玉川学園・南大谷	2019年 12月7日(土)	14:00～16:00	南大谷さくら会館 ホール	27人
相原	2019年 12月9日(月)	19:00～21:00	堺市民センター　ホール	34人
木曽	2019年 12月14日(土)	10:00～12:00	教育センター１号館4階大会議室	33人
小山	2020年 1月26日(日)	10:00～12:00	小山市民センター　ホール	25人
南	2020年 1月27日(月)	19:00～21:00	南市民センター　ホール	44人
高ヶ坂・成瀬	2020年 2月1日(土)	14:00～16:00	成瀬コミュニティセンター　ホール	52人
町田第二	2020年 2月2日(日)	9:45～11:45	サン町田旭体育館　多目的室	38人
町田第一	2020年 2月9日(日)	10:00～12:00	町田市民文学館ことばらんど　大会議室	23人
鶴川	2020年 2月12日(水)	9:30～11:30	鶴川市民センター　ホール	63人
忠生	2020年 2月13日(木)	10:00～12:00	忠生市民センター　ホール	43人
	計			382人

なぜ地区別懇談会を開催するのか？

地域の福祉課題の把握や解決に向けて取り組むための多様な主体（人・団体・法人）の連携体制づくりに向け、地区別懇談会を開催しています。

1 地域に多様な主体がいる状況

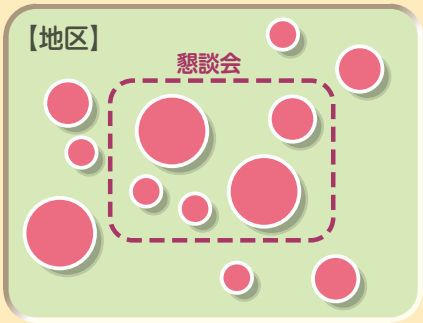


多様な主体の例

- 住民
- 民生委員・児童委員
- 町内会・自治会
- 老人クラブ
- ボランティア団体、NPO法人
- ふれあいサロン・子育てサロン
- 社会福祉法人、福祉施設
- 保育園、幼稚園、学童保育クラブ
- 当事者会・家族会
- 小学校・中学校、PTA
- 高校・大学
- 商店・企業　等

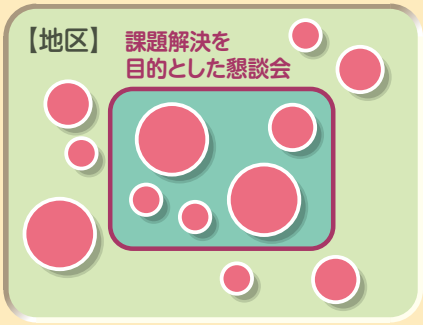
継続的に懇談会を開催しながら、地域で活動できる人材の育成や地域の課題解決への取組を検討します。

2 懇談会をとおした情報共有・意識啓発、課題整理



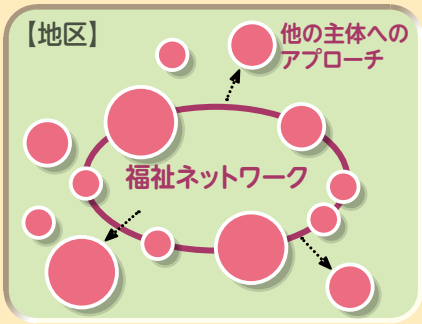
地区別懇談会に多様な主体が参加することで、互いに情報共有し、意識啓発をすすめ、連携をとりながら、地域の課題を整理します。

3 課題解決を目的とした懇談会の開催



多様な主体で構成される福祉ネットワークが形成され、地区の情報や社会資源を共有し、地域課題に対するよりよい解決方法を考えていく場となっていきます。また、構成メンバー間で相互に意識啓発が行われ、人材が育成されていくことを期待します。

4 地域課題解決のための福祉ネットワークづくり



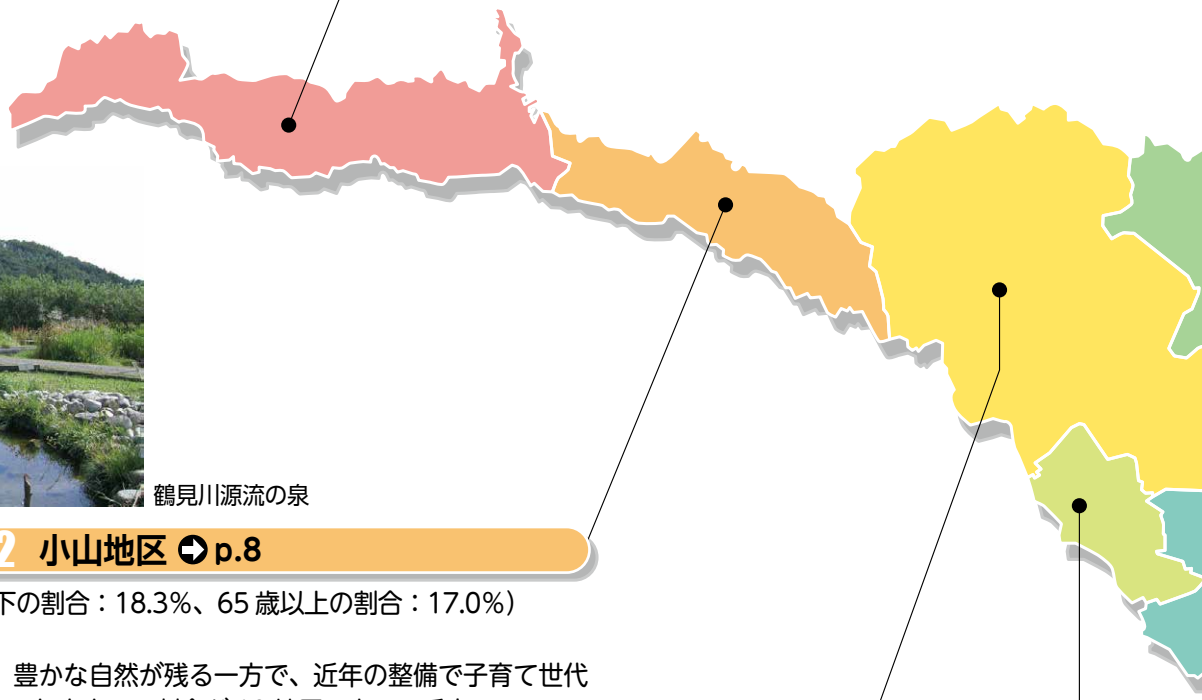
10地区の概要 <目次>

町内会・自治会連合会の地区連合会のエリアを基本とした 10 地区をご紹介します。
※人口は2019年10月1日現在

薬師池の桜

1 相原地区 ➡p.6

人口：15,052 人（14 歳以下の割合：11.1%、65 歳以上の割合：30.6%）
<特徴>
●大半が緑地として保存されている自然豊かな地域である。
●町内会・自治会加入率が他地区と比べて高く、60%近くとなっている。
●65 歳以上の人口の割合、要介護認定率、人口に占める障がい者の割合が市平均よりいずれも高い。



鶴見川源流の泉

2 小山地区 ➡p.8

人口：30,342 人（14 歳以下の割合：18.3%、65 歳以上の割合：17.0%）
<特徴>
●歴史ある社寺や郷土芸能、豊かな自然が残る一方で、近年の整備で子育て世代を中心に若い世代が定住し、年少人口の割合が 10 地区の中で一番高い。
●小山町と小山ヶ丘で、年齢構成や居住年数等の差がある。
●高低差が激しく、高齢者等にとっては地区内での移動が困難な場合がある。

3 忠生地区 ➡p.10

人口：53,329 人（14 歳以下の割合：12.7%、65 歳以上の割合：29.8%）
<特徴>
●北部は多摩丘陵の自然が広がっており、公園や農地など、都市圏にありながらも自然豊かな環境が維持されている。
●子育て関係と、高齢者・障がい者関係施設が充実している。また、高校が４校、大学が１校ある。
●65歳以上人口の割合は市平均より上回っている一方で、要介護認定率は市平均を下回っている。

小山田桜台団地

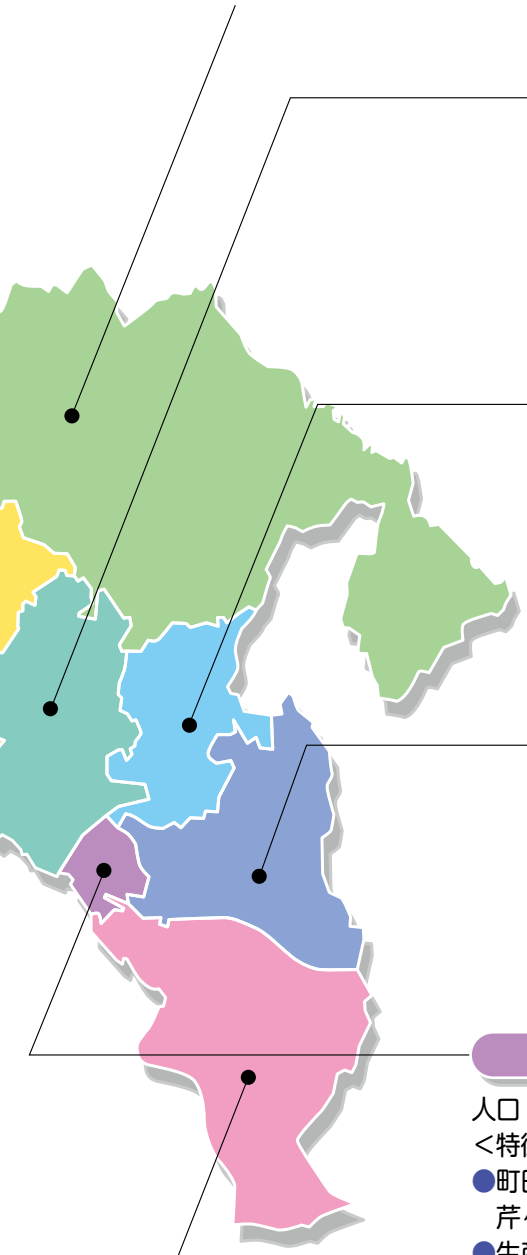
4 木曽地区 ➡p.12

人口：23,551 人（14 歳以下の割合：12.0%、65 歳以上の割合：30.6%）
<特徴>
●境川沿いの散策路を身近に楽しむことができ、自然と共に暮らすことができる地域である。
●団地が人口の半数以上を占め、10地区の中で高齢化が進んでいる地区である。
●65歳以上人口の割合が市平均を上回る一方、要介護認定率は市平均を下回っている。

5 鶴川地区 ➡ p.14

人口：92,021 人（14 歳以下の割合：12.2%、65 歳以上の割合：26.6%）
＜特徴＞
- 自然と調和した閑静な住宅地が広がっている。また、歴史・文化資源が多く残っており、文化の交流の核となっている。
- 2019 年度に地区社会福祉協議会（地区社協）が設立されている。
- 高齢者・障がい者施設だけではなく、教育施設も充実しており、高校が３校、大学が３校、特別支援学校が２校ある。

まちだリス園



6 町田第二地区 ➡ p.16

人口：53,199 人（14 歳以下の割合：10.3%、65 歳以上の割合：29.4%）
＜特徴＞
- 町田駅周辺は市街地としてにぎわう一方、落ち着きのある住宅地も広がっている。
- 65 歳以上人口の割合、要介護認定率、障がい者数の割合いずれも市平均より高くなっている。
- アパートやマンションが多く、町内会・自治会への加入率が低い。

7 玉川学園・南大谷地区 ➡ p.18

人口：30,918 人（14 歳以下の割合：12.2%、65 歳以上の割合：27.5%）
＜特徴＞
- 地域のほとんどが丘陵地の中にあり、起伏豊かな地域である。
- 住民主体の活動団体が多く、2010年に地区社会福祉協議会（地区社協）が設立されている。
- 学園都市として高校が１校、大学が２校など教育関連施設が多いが、障がい者関係施設は少ない。

8 高ヶ坂・成瀬地区 ➡ p.20

人口：43,973 人（14 歳以下の割合：12.3%、65 歳以上の割合：27.8%）
＜特徴＞
- 土地区画整理事業による宅地化が進み、緑が多く落ち着いた住宅地である。
- 成瀬台地区は 65 歳以上人口の割合が多い。
- 障がい者・福祉関係施設が充実している。ふれあいサロンも多い。

9 町田第一地区 ➡ p.22

人口：14,687 人（14 歳以下の割合：9.2%、65 歳以上の割合：19.5%）
＜特徴＞
- 町田駅周辺には大型店舗と商店街があり、にぎわいの拠点となっている一方で、芹ヶ谷公園や境川などの豊かな自然も残されている。
- 生産年齢人口の割合が高く、その他の世代が少ない。
- 公共施設は多いが、高齢者施設、障がい者関係施設は少ない。

10 南地区 ➡ p.24

人口：71,986 人（14 歳以下の割合：12.9%、65 歳以上の割合：25.6%）
＜特徴＞
- 南町田グランベリーパーク駅周辺は大型商業施設を中心に、市外からも人が集まるにぎわいの場となっている。
- 南町田では 2014 年に地区社会福祉協議会（地区社協）が設立されている。
- 保育所・幼稚園等の子育て関係施設や、ふれあいサロンが充実している。

町田駅前

1 相原地区 相原町

テーマ

地域住民が支え合うしくみづくり

～相原人材BANK の設立に向けて～

2019年度までに取り組んだこと

- 地域住民が互いに支え合うしくみとして「相原人材BANK」の検討を進めました。
- 相原人材BANKの運営団体として、地区社会福祉協議会の検討を進めました。
- 地区別懇談会を通して、相原人材BANKの周知を行いました。

今後の方向性

- 相原人材BANKの設立を推進します。

具体的取組

- 相原人材BANKの設立に向けて、町内会や地域活動団体等と検討を行います。

2019年度の懇談会で話されたこと

みんなのできることを出し合って相原人材BANKにつなげる

2019年度は、地域住民が互いに支え合うしくみとして、相原地区で始まる「相原人材BANK」の紹介と支え合い活動の事例紹介を通して、「事例を通して自分ができること」について話し合いが行われました。

相原人材BANKの事業メニューにつながる、たくさんの「自分ができること」が参加者から出ました。

◀話し合いの様子

地域住民が支え合うしくみづくり～相原人材BANKの設立に向けて自分ができること～

家事支援

- そうじ
- 買い物、おつかい
- 料理
- ゴミ捨て
- その他家のこと
- 草とり、庭そうじ
- 話し相手
- 通院の手伝い
- パソコン

趣味・スポーツ・健康づくり活動

【趣味】
- 洋裁、手芸
- 園芸、野菜づくり
- カラオケ
- 絵を描く
- 麻雀、囲碁、将棋
- バーベキュー など

【スポーツ】
- 卓球
- 水泳
- 走り方教室
- ジョギング
- ダーツ
- フットサル など

【健康づくり活動】
- ウォーキング
- ラジオ体操
- フットパス
- 体操
- 登山

育児支援、子ども・子育て支援

- 子どもと一緒に遊ぶ
- 子育て支援
- 学習支援
- 見守り
- 子ども食堂（誰でも食堂）
- 相談
- スペース貸し
- 子どもの話し相手

外出・移動支援

【つきそい】
- 買い物のつきそい
- 通院つきそい
- 外出のつきそい
- 散歩のつきそい
- 自家用車による送迎 など

- 買い物代行
- 車・ドライバー
- 移動スーパー
- 家の中での支援

その他の専門的な支援

- 人材BANK
- 外国人支援(語学)
- 防災対策
- 個人支援
- グループ支援
- パソコンの使い方支援
- プレゼン資料の作成方法
- 医療を利用する人への支援
- まちづくり・居場所づくり交流につながる
- 困りごとを抱えた人への支援
- 家庭のインフラ整備・修繕
- ブルーベリーの栽培相談

相原地区では、
すでにこんな活動が進んでいます！！

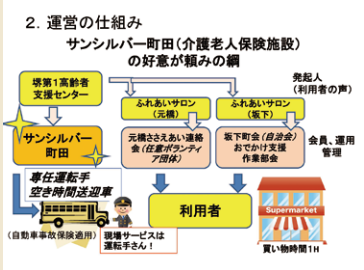
元橋ささえあい連絡会

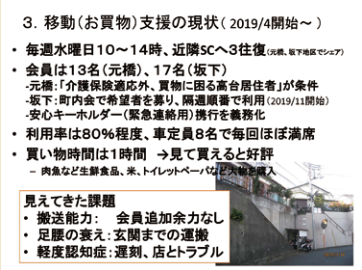
高齢者のお買い物を
アイデアで支援

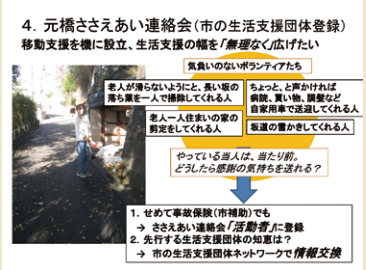
相原町の地域課題は「山坂が多い」、「交通空白地域が多い」その中でも元橋坂下地区は、道幅も狭く、急な坂道も多い地域で、高齢化とともに外出困難な方が増えてきている地域でもあります。

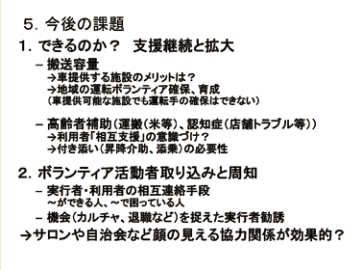
その地域の課題を、民生委員、老人会会長、サロン代表、地域の担い手の方々、堺第１高齢者支援センターで話し合いを重ねて、「元橋ささえあい連絡会」が立ち上がり、代表を民生委員の藤原さんが担っています。

立ち上げまでの流れと、現状、今後の課題を代表の藤原さんから事例発表をしていただきました。









ナンヘル

高齢者のちょこっとしたことを
お手伝い

「ナンヘル」とは、団体の立ち上げのきっかけとして、高齢者支援センターの行事のお手伝いなどをされている介護予防サポーターを中心にたちあがった、生活のちょこっとしたことのお手伝いをする団体です。

代表の佐々木さんが、シルバー人材センターの班長をされているつながりから、小さい作業はボランティアで、大きな家具を２階から降ろしたり、植木の剪定、また障子張り等の専門的な作業などは、シルバー人材センターに繋ぐ等、うまく連携をとりながら、相原の生活支援の活動を行っております。

少しずつですが、生活のお困りごとの依頼もありますが、まだまだ担い手の登録が少ないのが現状です。

現在、仲間を大募集しております。

この機会に知っていただき、ぜひ仲間になっていただければ幸いです。

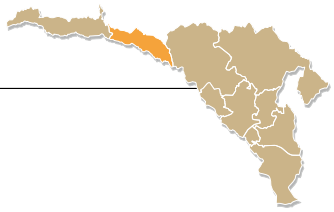
地区別懇談会の講評とこれから

2017年度の相原地区別懇談会で、人材豊富な地域であることが特徴であり、それを活かして「相原人材BANK」をつくろう！と明確になりました。2018、2019年度の地区別懇談会では「相原人材BANK」の立ち上げに向けて、「助け合いとはなにか、得意なことを持ち寄ろう」をテーマに地区別懇談会を開催してきました。

今後は「相原人材BANK」の立ち上げに向けて具体的に動きだす予定です。

2 小山地区

小山ヶ丘1～6丁目、小山町



テーマ

多世代交流の場づくり

～子どもが輝けるまちづくり～

2019年度までに取り組んだこと

- 「子どもセンターぱお」を利用する子育て世代の方に「地域にあると良い子育て支援」について、ヒアリングを実施しました。
- 子育て世代の方へのヒアリング結果をもとに、地区別懇談会で「子育て世代を支援するにあって、地域でできること」を話し合いました。

今後の方向性

- 地域住民と子育て世代との交流とつながりづくりを進めます。
- 情報提供の方法と場を広げます。

具体的取組

- 小山・小山ヶ丘ネットワーク協議会の協力を得て、情報提供（発信）の検討を行います。
- 地区別懇談会で子育て世代との交流の場をつくります。

2019年度の懇談会で話されたこと

多様な交流・イベント、地域の資源を活用して

2019年度は、話し合いを行う前に「ラダーゲッター」、「ボッチャ」の２種類のニュースポーツ体験イベントを行い、お子さんも一緒になって、体を動かしながら参加者同士の交流を深めていただきました。

話し合いでは、「小山の子育て世代向けにあったらいいなと思うもの」として、「多世代交流」について話し合っていただきました。

▲話し合いの様子

小山の子育て世代向けにあったらいいなと思うもの（テーマ：多世代交流）

交流

交流・イベント
- 0歳～老人までの交流イベント
- 色んなイベントに乗っかる

スポーツを通しての交流
- 年齢問わず参加できるスポーツイベントの開催

遊びを通しての交流
- 昔ながらの遊びを子どもに伝える催し
- 子どもから親世代、祖父母世代にテレビゲームを教える！

既存の行事等を活用・発展
- 地域の既存行事（どんど焼きを子どもが参加しやすく）
- 地域のお祭りを活性化（あるいは復興）する

シニアの力を借りる
- 世代間の悩み相談会 →経験からのアドバイス

読み聞かせを通して交流
- シニアの方達による子ども向け読み聞かせ

畑を通しての交流
- 畑で作った野菜を食べようの会

料理を通しての交流
- 祖母から母へお料理教室
- 皆で料理を楽しもう（手料理）

交流の問題点
- 家庭ごとに様々
- 思いついてもすぐできる場所がない

場所
- 交流の場
- 多世代との交流の場
- 子どもクラブを多世代交流の場に
- 市民センター

スポーツを通しての交流
- 口コミ
- 声かけ誘い
- 交流会等の宣伝方法
- インターネット・アプリ等の活用

つながりを強化する
- 「つながり」をどう作るか（入り口をイベント等）
- 幼稚園の行事に地域の人が参加する

＜重要＞
- 企画力・宣伝力
- リーダー
- ママ友リーダーとつながるしくみ・方法

アプローチ
- 具体的につながる宣伝・アプローチ
- 行ったらいいこと（具体的に）がある！

地域資源の活用
- 子どもクラブ、学童クラブ等と地域資源を社協等が結びつける

あいさつ
- 近所であいさつを、勇気を出して

見守り
- 子どもを見守る目が増える
- 登下校時の見守り

小山地区の子育て世代との つながりづくり

子育て世代と地域住民や団体と「ニュースポーツ（ラダーゲッター・ボッチャ）」体験を通して、つながりづくりをしました。
当日は、NPO法人町田市レクリエーション連盟の方々にご指導いただき、安全に楽しく体験しました。

ラダーゲッター

▲ボールを投げて・・・

▲３つのラダーに引っ掛けたら、みんなでぐるっと一周

▲黄色チームが勝ちました！

ラダーゲッターとは　ラダーゲッターは、ヒモでつながっている2個のボールをラダー（ハシゴ）に向かって投げ、ボールがラダーに引っ掛かる（ハングする）と得点となる、三世代交流も可能なスポーツ・レクリエーションです。

ボッチャ

▲目標にボールを近づけよう

▲赤と青、中心に近いのは？

ボッチャとは

赤と青のボールを投げたり、転がしたりして白いボール（目標球）にできるだけ近づけ、距離を競うスポーツです。

子どもたちの新たな遊び場に

小山子どもクラブ「さん」

◀子どもクラブ「さん」の外観

子どもクラブ「さん」は2019年12月にオープンしました。施設愛称「さん」は地域の子どもたちから募集し、「SUN(太陽)」「小山」「参加」など様々な“さん”が込められています。

所在地：　町田市小山町1165-3
電話：　042-794-8033
開館時間：午前10時から午後６時まで
休館日：　日曜日、祝日、12月28日から翌年1月4日まで
対象：　0歳から18歳までの子どもとその保護者
未就学のお子さんには、保護者の方の付き添いが必要です。
※開館日時は感染症の状況により変更する場合がありますので、ホームページ等で事前にご確認ください。

2018年度の地区別懇談会の意見を踏まえて、老若男女、障がいのあるなし、子ども、高齢者関係なく楽しめるスポーツで、地域住民の顔のつながりができました。

▲みんなで楽しく交流しました！

3 忠生地区

小山田桜台1～2丁目、上小山田町、下小山田町、図師町、
忠生1～4丁目、常盤町、根岸1～2丁目、根岸町、矢部町、山崎1丁目、山崎町

テーマ

誰もが気軽に集える地域の居場所づくりについて

～わがまち知ろうマップ・作っちゃいました～

2019年度までに取り組んだこと

- 2018年度に行った地区別懇談会について報告会を行い、「資源マップ」の作成や今後の地区別懇談会を通した展開について説明を行いました。
- 忠生第1、2高齢者支援センター、障がい者支援センター、地域子育て支援センター、社会福祉協議会が持つ資源の情報を持ち寄り、「資源マップ」作成に向けて話し合う機会を設けました。

今後の方向性

- 地域資源マップのブラッシュアップを行います。
- 地域資源マップの活用方法を検討します。

具体的取組

- 地区別懇談会で地域資源マップのブラッシュアップを行います。
- 地域資源マップの周知や掲示の方法を忠生地区協議会と検討を行います。

2019年度の忠生地区 地区別懇談会

事例紹介

日蓮宗壽量寺

忠生地区の日蓮宗壽量寺の住職である戸田周良住職様より、寺院が所有する施設の地域開放についてご紹介いただきました。地域の方と歩むというお考えから、行事で使用していない時に施設や駐車場などを地域の方に開放されています。

社会福祉法人みずき福祉会 町田福祉園

町田福祉園事業推進係の中池様、吉村様より、町田福祉園の地域開放事業についてご紹介いただきました。施設利用者の方の使用がない時間に、体育館、会議室、プール、ひのきの間の４つの場所を開放しています。

また、地域共生社会に向けた貢献活動として、施設の建物、駐車場を開放したフリーマーケットを行っています。

グループワーク

2019年度は「忠生地区にあったらいいなこんなこと・自分もできるこんなこと」を話し合いのテーマに、資源マップを見ながらたくさんのご意見をいただきました。

＜主な意見＞

※他にも、多くのご意見をいただきました。ありがとうございました。

【つきそい】
- 高齢・障がい・子ども・地域が相互に交流できる場や機会

【高齢者】
- 高齢者が集える場所
- 高齢者施設内でも催し物など工夫している

【障がい者】
- 障がい者と交流できる場所→色々な人がいることを理解

【子ども・子育て】
- 子どもがボール遊びをできる場所があると良い
- 小中高校生と様々な学生が集える場
- 各小学校の近くに始業前、放課後に子どもを預かる場

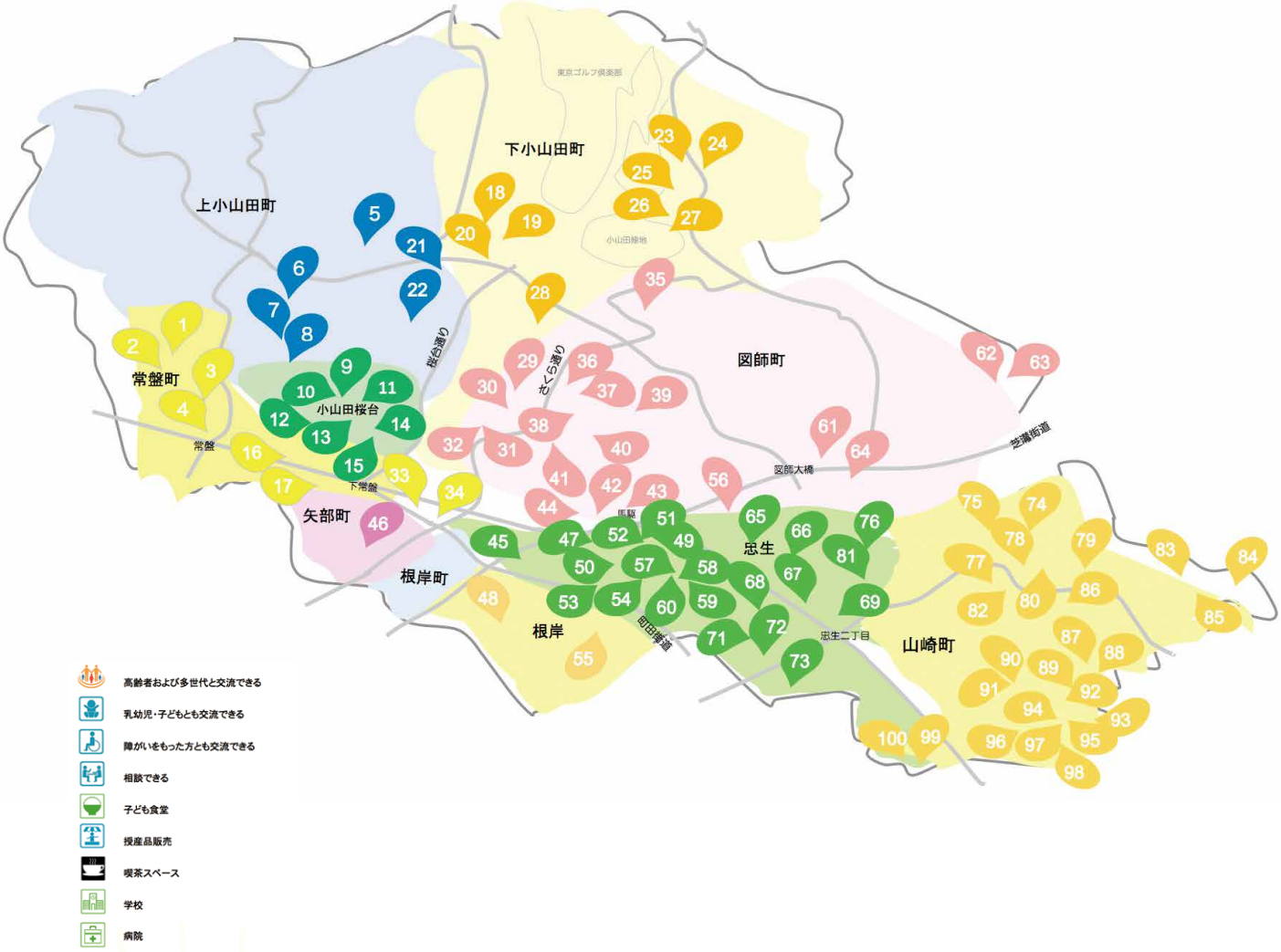
【情報】
- 忠生バスツアー　忠生地区を知ろう！
- 施設があるのは知っているが、どのように使うかが分からない
- 施設開放していること自体知らない人が多い

【場所】
- 気軽に集まれる場所が少ない
- 顔見知りになれる場所
- 障がい者施設の活用

【場所】
- キャンプ・デイキャンプなどできる場所
- 自然を活かした子ども放課後支援

資源マップ

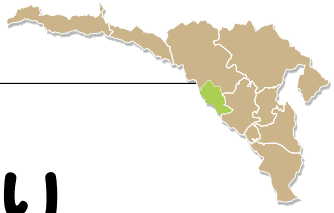
各センターの持つ資源情報に、地区別懇談会でいただいた意見を反映して作成しました。



1	こっこのもり保育園	26	大龍会館	51	忠生市民センター	76	認定こども園 町田自然幼稚園
2	新常盤自治会館	27	白山神社	52	忠生中学校	77	山崎高校
3	子どもの森保育園	28	小山田神社	53	忠生あんしん相談室	78	山崎中学校
4	しんわ常盤支所	29	ポワ・エール	54	サポートセンター町田とも	79	シーアイハイツ
5	小山田小学校	30	町田市大賀藕絲館	55	淡島神社	80	七国山小学校
6	養樹院	31	忠生第1高齢者支援センター	56	ライオンズガーデン町田の丘	81	しぜんの国保育園
7	上小山田コミュニティセンター	32	ふれあい桜館	57	町田市美術工芸館	82	たかね第二保育園
8	神明神社	33	桜美林中学校・高校	58	ひかり療育園	83	こころみ
9	小山田桜台集会所	34	桜美林大学桜美林ガーデン	59	忠生農協会館	84	七国山ファーマーズセンター
10	嵐が丘（喫茶店）	35	日本大学第三中学校・高校	60	忠生中央町内会館	85	町田ダリア園「かがやき」
11	桜台保育園	36	町田市立室内プール	61	図師町内会館	86	旧忠生第六小学校用地
12	小山田南小学校	37	花の家	62	町田荘	87	認定こども園 カナリヤ幼稚園
13	谷戸池公園冒険遊び場	38	桜美林台自治会館	63	サルビア荘	88	山崎団地第二集会所
14	小山田中学校	39	図師小学校	64	忠生地域障がい者支援センター	89	カナリヤ保育園
15	フォレスト常盤	40	コミュニティはうすシナモン	65	富士作業所ベーカリーひあたり	90	アイ・らんど忠生
16	常盤町内館	41	壽量寺	66	町田おかしの家	91	コミュニティcafe バル リレイス
17	町田ときわ保育園	42	グループホームしえる	67	コミュニティセンター忠生	92	たかね保育園
18	大泉寺	43	町田福祉園	68	町田工業高校	93	桜美林大学山崎校舎
19	上根神社	44	森工房	69	山崎小学校	94	プラスハート
20	あらぐさ	45	ナカミチ児童デイサービス忠生	70	きららデイリハてをつなごう	95	木曽山崎センター
21	小山田会館	46	箭幹八幡宮	71	忠生市営住宅	96	みんなの広場
22	清住の杜町田	47	富士清掃サービス	72	子どもセンターただON	97	カフェとうどん・そば「かわせみ」
23	プラナスクリエイティブセンター	48	根岸町内会館	73	忠生公園	98	忠生第2高齢者支援センター
24	多摩丘陵病院	49	忠生小学校	74	山崎第2スポーツ広場	99	地域子育て相談センター 市立山崎保育園
25	大谷里山農園	50	ドレミの仲間	75	ユニケ保育園	100	町田の丘学園山崎校舎

4 木曽地区

木曽町、木曽西1～5丁目、
木曽東1～4丁目



テーマ

安心して暮らせるまちづくり

～木曽地区を“夢”のあるまちに～

2019年度までに取り組んだこと

- 境川団地見守り支援ネットワークの見守り活動の充実と継続に向けて活動しました。
- 子どもを中心にした年齢問わず楽しめるイベントを開催しました。

今後の方向性

- 新しい発想で、多世代交流できるイベントを開催します。

具体的取組

- 地区別懇談会を木曽地区らしい「夢」を語れる場づくりをし、イベントや事業へつなげていきます。

2019年度 地区別懇談会への思い

木曽地区懇談会を開催するにあたり、木曽地区協議会の竹島代表にご相談したところ、木曽地区で新しい発想で地域住民が楽しめるイベントや事業を企画開催している、木曽地区協議会の一戸副代表をご紹介いただき、ともに地区別懇談会の内容を検討しました。

一戸副代表の「課題出しには未来はない。木曽地区の未来をみんなで考える場にしましょう！」という一声から「夢」を語る地区別懇談会の開催となりました。

木曽地区ではこんな「夢」のあるイベント・場所があります

地区別懇談会で話し合う前に、青少年健全育成地区委員 一戸代表より企画・実施されたイベントである「水かけ祭り」について、その実施までの経緯やねらいをご紹介いただきました。

また、社会福祉協議会職員より木曽地区でフリーマーケットや地域の活動場所の提供を行っているフリースペース「三家宿ふるさと和楽」様をご紹介しました。

イベント紹介

青少年健全育成地区委員 一戸代表

▲一戸代表より「水かけ祭り」についての紹介の様子

場所

フリースペース「三家宿ふるさと和楽」

▲社会福祉協議会職員よりフリースペース「三家宿ふるさと和楽」についての紹介の様子

2019年度の木曽地区　地区別懇談会

2019年度の懇談会で話されたこと

あったらいいこと、できることを出し合って地域の夢のある未来を考える

2019年度は、事例紹介の前に過去2年間の地区別懇談会で出た課題について、社会福祉協議会から報告しました。

「木曽地区にあったらいいなこんなこと・自分もできるこんなこと」を話し合いのテーマに、「多世代交流」、「イベント」、「子どもの居場所」、「地域の見守り」、「日常生活支援」、「地域の情報発信」、「木曽地区の未来を語る」の7つのグループから、自分の興味があるグループに分かれて話し合いを行いました。次に別のグループへ移動して、1回目の話し合いの結果を受けて、さらに内容を深める形で話し合われました。

▲グループ発表の様子

木曽地区にあったらいいなこんなこと・自分でできるこんなこと

多世代交流

- 得意なことを子どもが大人に、大人が子どもに
- 体育館でもみんながなんとなく同じ場にいること
- 昔、マムシを地域で分け合いました→助け合い
- 夏のプールまつり
- 銭湯があったらなぁ
- 昔遊び
- 踊る阿呆に見る阿呆!?
- おいしいことはみんな集まる
- 友好都市と交流

イベント

- みんなが参加できるイベント!!
- 場所
- 食べ物関係
- 昔遊び
- 防災関係
- 運動
- イベント成功のポイント!

子どもの居場所

- 子供の遊び場
- 今の生活（子ども）の状況
- 親へのアプローチ
- 近所のおばさん家
- 直接体験できるけがと弁当は自分持ち
- 情報共有

地域の見守り

- 声かけ
- 見守り
- 気持ち
- 気づき
- イベント
- 老人会・自治会
- 学校・子ども
- 社会資源

日常生活支援

- あいさつ 話を聞く →見守り
- 親しくなって → 車での送迎
- ちょっとした家のこと
- 災害時の助け合い
- 利用者本位の考えを大事に
- お助け隊!
- ふれあい
- プロフェッショナル相談

地域の情報発信

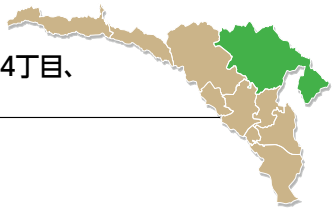
- 機会の提供
- 気軽にできること
- 気持ち・心構え
- 問題点

木曽地区の夢を語る

- つながり
- 団地の活性化
- 誰にとってもやさしいまち
- 人が集まる
- 公園遊び
- 境川遊び
- 空き家活用

5 鶴川地区

大蔵町、小野路町、金井1～8丁目、金井町、真光寺1～3丁目、真光寺町、鶴川1～6丁目、能ヶ谷1～7丁目、野津田町、広袴1～4丁目、広袴町、三輪町、三輪緑山1～4丁目、薬師台1～3丁目



テーマ

大好き鶴川！

～みんな集まれ！地域イベント情報大集合～

2019年度までに取り組んだこと

- 2018年度の地区別懇談会後に、アンケートや報告会を実施しました。
- 模造紙の活動内容や連絡先等の参加者名簿を作成、団体同士のつながりづくりを行いました。
- 事例発表者への地区別懇談会の気づきをヒアリングし、各団体や地区協議会の事業へのつながりを促しました。

今後の方向性

- 各団体の活動や、地域イベントにつなげていきます。
- 地域住民同士のつながり（交流）をつくります。
- 地区別懇談会を地域住民（団体）が主体になり開催します。

具体的取組

- 報告会を開催します。
- 地区別懇談会の参加者（子育て世代）と地域で活動する団体とのつながりをつくります。
- 鶴川地区社協と連携し地区別懇談会を開催します。

２０１９年度地区別談会開催まで

今回の地区別懇談会は「子育て中の世代が地域とつながる・地域活動に参加する・地域のイベントの情報発信」を目的に、子育て中の世代が参加しやすい時間、地域住民とつながれるテーマ、内容を参加者みんなが、意見や共感しやすいように検討を重ねました。

テーマは「地域イベント大集合！」。参加したことがあったり、新しいイベント情報の入手ができたり・・・交流できる場（地区別懇談会）にしました。

2017年度 懇談会

2017年度の地区別懇談会は、「幸せに暮らし続けるために地域にあるとよいこと」を話し合いのテーマに行いました。

【2017年度の地区別懇談会ではこんな意見が出ています】

- 近所づきあいを持つ
- 新しい住民との交流
- 人材発掘
- 子育て支援
- 誰とでも気軽に話せる雰囲気
- 困った時に相談できる場所
- 地域住民が気軽に集まれるスペース
- 地域をつなぐためのコーディネーター
- 地区別懇談会のような話し合いの場
- 男性の社会貢献
- 認知症カフェ
- 学生のパワーの活用
- 労働の場
- 車いすで入れるお店
- 情報のバリアフリー化
- 市民農園
- 災害時に助け合えるコミュニティ
- 交通の利便性
- 行事への参加促進
- 趣味を発揮できる場

2018年度 懇談会

地域の活動を知る！活動へ参加する！つながる！を目的に「大好き鶴川！みんなが交流できるまちづくり」をテーマとしてみんなで「交流」について話し合いました！

また、地区別懇談会の終わりに、団体同士の交流の時間を設け、マッチングを行いました。

つながり

活動紹介を行った「小さな一歩電話相談室」や「地域子育て支援センター」に「協力するよ！」という、つながりたい団体が連絡交換を行い、つながりができました！

2019年度の懇談会で話されたこと

地域のイベント情報を出し合って、交流を進める！

2019年度は、地域の行事やイベントの情報を社会福祉協議会と地域子育て支援センターが整理し、作成した地域イベント一覧を見ながら話し合いが行われました。

参加したことがあるイベント

参加したことがあるイベント：盆踊り

参加したことがあるイベント：地域

- どんど焼き
- 鶴川団地まつり
- 鶴川地区交流音楽祭
- 鶴川センター名店街（バザー、節分、夏祭り、エイサー）
- 金井さくら祭り
- 金井フェスティバル
- いこい祭り/いこい会館
- つるかわ元気up健康祭り

など

参加したことがあるイベント：市関係

- ようこそ！鶴川OMOTENASHI大作戦　など

参加したことがあるイベント：その他イベント

イベントの良い点

- 子どもが安心して楽しめる
- 若い世代が入ってきてくれる　など

イベントの課題

- 情報共有・発信
- 場所
- 担い手・参加者
- 開催日・時間・要件

見てみたい！参加してみたいイベントまたは　やってみたいイベント

- アクセス（場所・移動手段）
- 多世代
- 若い世代が集える場所
- 情報
- カーリング
- コラボ
- 自然
- きっかけ
- カフェ

2019年度の鶴川地区 地区別懇談会

地域イベント主催者からの活動発表

鶴川やってみる会

コミュニティーフレンド鶴川

各グループに分かれて、イベント一覧を見ながら活発な意見出し

2019年度 鶴川地区 地区別懇談会を終えて

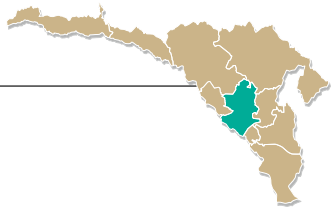
子育て中のお母さん達がたくさん参加し、地域で活動している団体とつながりました。また、参加者みなさんが「こんなイベントがあったんだ」「このイベント参加したけど駐車場があるともっと参加者増えるよね」等、たくさんの意見が出ました。

目的である、つながり、つながりからの地域活動への参加、情報提供ができました。

鶴川地区のメインテーマである「大好き鶴川！」を参加者みんなで共有できました！！

6 町田第二地区

旭町1～3丁目、中町1～4丁目、本町田、森野1～6丁目



テーマ

お父さんが活躍できる場づくり

２０１９年度の懇談会開催に向けて

- 子育て中のお父さんが地域で活躍できる機会や地域デビューのきっかけなどを、子育て経験者や子育て中の方から多くの意見やアイデアを聞くこととしました。
- 懇談会当日は、話し合いだけでなく親子で参加できるイベントも織り交ぜながら、参加者同士の交流できる時間も入れることとしました。

2019年度までに取り組んだこと

- 2018年度の地区別懇談会で、子育て世代の方から地域活動に対する意見をたずねました。「仕事と子育てで忙しい」「責任を負うことへの負担が大きい」といった声があることを認識し、「好きな時に」「自由に」「気軽に」参加できる機会をつくることが大切だとわかりました。また、地域デビューのきっかけに必要なことを聞くことができました。
- 子どもに関わる関係機関から、子育て中のお父さんの状況について確認しました。

今後の方向性

- 気軽に参加できるイベントを通してお父さん同士のつながりづくりを検討します。
- 地域のイベントなどの情報発信の方法を検討します。

具体的取組

- 親子で楽しめるイベントを企画・実施します。
- SNSによる情報発信を進めます。

2019年度の町田第二地区 地区別懇談会

2019年度の懇談会で話されたこと

お父さん同士のつながりや多様な情報発信を通して、参加しやすい場をつくる

2019年度の懇談会では、「多様なイベントや、気軽に参加できるしくみづくりから、お父さんたちの活躍の場を増やす」を話し合いのテーマに、「つながりづくり」など５つのグループに分かれて話し合いを行いました（右ページ参照）。

子どもも対象としたイベントならお父さんも参加しやすいのではないかという意見がたくさん出ました。また、無理なく気軽に参加できるラフなつながりづくりと、どこでどんなイベントを実施しているのか、SNS など情報発信ツールが必要という意見もありました。

▲話し合いの様子

▲グループ意見の発表の様子

懇談会で出た意見

ラフなつながりづくり

誘い合う、声かけ
- いつでもウェルカム
- ラフ→自由参加
- お互いの名前がわかるようにしておくと気持ちが楽

イベントはなんでもいい、共通の話題ができればつながれる
- ムダなイベントを多くやる！
- 年代の違うお父さんとの交流
- お父さんの会同士のネットワーク

楽しくてほっとできる場づくり
- 既存の企画に参加しやすい、してみたいと思わせる雰囲気を作る
- 思った事を伝えられる場
- 楽しい雰囲気

情報提供・情報発信

SNS
- SNSの活用！
- お父さんがダイレクトに見られるSNSの場
- 見える形の情報発信

みえる・みやすい・みせる・みせたくなる
- 情報共有のハブとなるオフィシャルなツール
- 超地域密着情報ツール

ママたち
- お母さんのネットワークでの共有「まちだママ会」など
- お母さんを休ませようという名で情報発信する

子どもたちが幼い時から
- 幼稚園、保育園への情報共有
- 子どもたちの情報を知る

あったら楽しいイベント

料理
- パパと子どもでつくろう料理
- 料理作り、対決方式等

ゲーム
- 人狼ゲーム
- 親子で参加脱出ゲーム

スポーツ
- 体力測定を兼ねたアドベンチャーアスレチック
- 綱引き大会
- 風船バレーボール大会
- 親子スポーツ競争大会

実験・ものづくり
- 親子でものづくり（講師を呼んで）陶芸など
- 理科が大好きになる大きな実験
- 新聞紙ドームづくり

アウトドア
- 大地沢まで（ナイト）ハイク
- キャンプファイヤー

もちつき

得意なことを活かせる場

参加しやすい
- 準備不要な場
- 同世代がある程度いる場
- 求められない場

イベント・お祭り

防災訓練

得意なこと
- ワークショップ開催・DIY
- 料理が得意なお父さんが男の料理教室開催
- 親子スポーツ競争大会
- 電球交換等、体力を必要とするボランティア

休みの時に
- お休みの日、特に土曜日にボランティアの参加

子どもと
- 夏休み、休日に子ども行事へ参加

場所
- 学校の校庭開放

情報発信
- 場所はあるけど利用の方法が分からない

世代間交流

イベント
- 焼芋イベント ●どんど焼き ●たけのこ・芋掘り
- 子どもが参加できるイベントであれば親も参加できる
- シニア世代が教えられる事を、子どもたちに教える場を作る（学習、あそび）

交流
- 中学生、高校生とのつながり
- 交流するためのツールがほしい
- 小中学校のイベントに地域の方を招待してもらう

場づくり
- 地域の方の得意なことを活かせる場づくり

きっかけづくり
- 身近な人を誘う(輪)
- 交流のきっかけづくり、声かけ

課題
- 活動するための資金がほしい
- 交流するスペースがほしい

みんなで新聞紙ドームを作りました

懇談会当日、町田第一小学校お父さんネットワークにご協力いただき、参加者みんなで新聞紙ドームを作りました。

懇談会には子どもの参加も多く、みんなで新聞紙をつなげ、大型扇風機で膨らませると新聞紙ドームが完成しました。完成した新聞紙ドームの中に入り、最後はみんなで記念撮影。子どもから大人まで楽しいひと時を過ごしました。

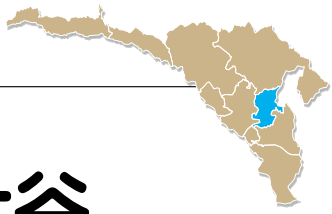
▲新聞紙ドーム作りの様子

▲新聞紙ドーム完成記念撮影

▲新聞紙ドームの中の様子

7 玉川学園・南大谷地区

玉川学園1～8丁目、
東玉川学園1～4丁目、南大谷



テーマ

ふるさとは玉川学園・南大谷

～ご近所同士でできる支え合い～

2019年度までに取り組んだこと

- 2018年度の地区別懇談会の結果を踏まえ、地域の支え合い活動のあり方を検討しました。
- 新たに立ち上げを進めている生活支援団体への支援を行いました。

今後の方向性

- 地域の困りごとを把握するしくみづくりを検討します。
- 地域の活動に参加したい人を活動につなげていくためのしくみづくりを検討します。

具体的取組

- 地域の困りごとを把握し関係機関とつなげるしくみの実施方法の検討と担い手を育成します。
- 引き続き生活支援団体への支援を継続します。

これまでの地区別懇談会

テーマ ふるさとは玉川学園

～隣近所とのつながりと支え合いを考える～

2017年度 懇談会

近隣とのつながりから、地域の「たすけあい」や「支え合い」の活動について話し合い、次のような意見が出ました。

- 「子ども110番の家」を活用した地域の見守り
- 多様な居場所づくりを目指した空き家・個人宅の活用
- 地区全体における住民相互の助け合いサービスの促進

2018年度 懇談会

町トレ※参加者への「地域の支え合い」事前アンケート

懇談会実施に先駆けて、町トレ参加者を対象に、グループ内や隣近所で困りごとを抱えている人への関わりについてアンケートを実施し、41人中28人から「お手伝いしたい」という回答をいただきました。「話し相手」「買い物」「ゴミ出し」「散歩の付き添い」など、自分でできる範囲のお手伝いならできる、もしくは既に行っているという回答をいただきました。

話し合ったこと

2018年度の懇談会では、支え合い活動に参加したい人たちを、活動につなげるためにできることについて話し合いました。

※「町トレ（町田を元気にするトレーニング）」とは、お住まいの地域で定期的・継続的に介護予防に取り組むための町田市オリジナルのトレーニングです。

日頃のあいさつ・声かけ

- 頻繁にあいさつ
- 積極的に声をかける
- 回覧板を持っていくときに声をかわす
- 顔見知りになる
- 花や子どもを会話のきっかけにする

活動の周知・見える化

- 多様な媒体、チラシ活用
- 活動している人たちの周りで周知・広報
- 多くの人に向けて情報発信
- 町トレで地域活動の周知をしている

活動に誘う

- 活動参加への声かけ
- 食べる・飲む等の楽しいイベントを開催する
- 町トレ時に趣味・運動の話をする
- お誘いイベントを開催する

活動時間・内容の検討

- 特技を活かせることであればいきいきと参加できる
- 楽しいことなら参加する（ハロウィンは親も仮装）
- 参加できるイベントの時間を考える
- ワークシェアリングできると参加できる
- 多様な活動を行う

2019年度の玉川学園・南大谷地区　地区別懇談会

２０１９年度の実施に向けて

- 南大谷で新しい生活支援団体「玉ちゃんサービス南大谷」の立ち上げの動きがありました。
- 玉ちゃんサービスや町田第3高齢者支援センターを交えながら、立ち上げに向け検討会議を開催しました。
- 2020年1月からの立ち上げに向けて、地域への周知をするとともに、地域の方からアドバイスをいただきました。

◀玉ちゃんサービス南大谷のチラシ

2019年度の懇談会で話されたこと　自分ができることが地域を支える力になる！

玉川学園・東玉川学園で展開している「玉ちゃんサービス」の事例紹介と、南大谷で立ち上げ準備を進めている「玉ちゃんサービス南大谷」の進捗状況の紹介を行い、社会福祉協議会から市内の生活支援団体の状況を報告しました。

助け合いについて理解を深めていただくためにカードを使った「助け合いゲーム」を行いました。その後の話し合いでは、ゲームを受けて多様な「地域の支え合いのために、自分ができること」を出し合いましたが、支援が必要な人にサービスをつなげていく方法についての意見も出ました。

▲話し合いの様子

▲結果共有の様子

地域の支え合いのために、自分ができること

日常生活の中での支援（家事・家に関すること）
- そうじ・片付け
- 道路清掃・雪かき
- ちょっとしたお手伝い
- 買い物支援
- 力仕事
- 介助ヘルパー
- 料理
- 電気・家電
- その他家のこと
- 草とり、庭関係
- ペットの世話

見守り・防犯
- 見守り支援
- あいさつ
- 防犯・安全

外出・移動支援
- 外出支援
- 移動支援

趣味活動・コミュニケーション
- 趣味活動
- 運動・体操
- イベントに誘う
- コミュニケーション
- 人を笑顔にする特技

情報発信・提供
- 情報発信
- 玉ちゃんサービスの認知・利用促進方法
- 困りごとの掘り起こし
- ネットワークづくり

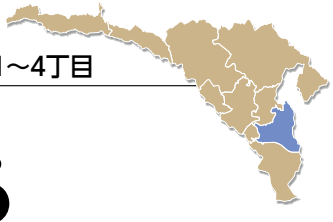
外出・移動支援
- 司法に関わる支援
- ファイナンシャル
- ライフプランニング
- ICT
- 手話の手伝い

子どもへの支援
- 子どもの世話
- 読み聞かせ

居場所づくり

8 高ヶ坂・成瀬地区

高ヶ坂1～7丁目、成瀬1～8丁目、
西成瀬1～3丁目、南成瀬1～8丁目、成瀬台1～4丁目



テーマ

高ヶ坂・成瀬を元気にする多世代交流の場づくり

2019年度までに取り組んだこと

- 地域で活動している様々な団体同士がつながれる方法を検討し、つながりリスト※を作成しました。
- 関係機関と連携しながら新たに取り組む地域の支え合い活動への支援を行いました。

※「つながりリスト」とは、高ヶ坂・成瀬地区の団体同士が連携し、互いに協力しあえることを目的に、掲載の承諾をいただいた団体の方を一覧にしたものです。

今後の方向性

- 既存の団体と連携しながら多世代交流活動をすすめます。

具体的取組

- つながりリストを更新し団体同士の連携を促進します。
- 子どもから大人まで、誰でも集えるみんなの食堂のスタートに向けて支援します。

高ヶ坂・成瀬地区の動き

- 2019年３月に高ヶ坂・成瀬地区協議会が設立され、地域のネットワークの広がりが期待されます。
- 事例発表いただいた「成瀬お助けたい」「鞍掛台　買物・外出支援プロジェクト」が2019年9月から本格稼働し、助け合い活動の広がりが期待されます。

これまで取り組んだこと

2018年度 懇談会

テーマ

地域のつながりから住民同士の助け合い活動へ

地域で活動している多様な団体がつながりを進め、新しい助け合いの取組について話し合いました。また、懇談会に参加した団体同士でつながりたいという声も出ました。

2018年地区別懇談会で出た意見

地域でできる住民同士の助け合い活動

- いろいろな人が参加できる機会
- おせっかい
- 住民のつながり活動を行う
- 地域コミュニケーションの推進
- イベントの企画
- 誘う、つながりづくり
- 地域のノウハウ
- 移動支援
- 交流
- 居場所づくり、サロン
- 若者の参加の促進
- 日常生活支援
- 情報の活用
- お助け隊をつくる
- 話し合い
- 見守り
- 防災防犯
- 子育て支援・子ども食堂
- ニーズ発信（知らせる）
- 公共・清掃

※黄色の網かけの内容について「活動を実現するためにできること」を話し合いました。

活動を実現するためにできること

- 公認おせっかい士
- 防災活動
- **人材を発掘する**
- **イベントを企画する**
- 情報発信
- 他機関との連携
- 場所の提供
- 誘い出すためのしかけ
- いろいろなサークル活動
- **地域とのコミュニケーション**
- **多世代で参加できるもの**
- 町内会・自治会組織の活用
- 自宅近辺の困りごとに向ける、手伝う

※太字は多くの参加者から出たご意見

2019年度の高ヶ坂・成瀬地区　地区別懇談会

２０１８年度地区別懇談会報告会

- 2018年度の地区別懇談会の結果を報告しました。
- 「成瀬お助けたい」「鞍掛台　買物・外出支援プロジェクト」から、前年度の懇談会後の取組を報告いただきました。
- 2018年度の懇談会から出た「団体同士でつながりたい」から、同意いただいた団体を一覧にした「つながりリスト」を配布しました。
- 参加者同士で意見交換を行い地域で助け合いを進めるため、直接アイデア・意見をもらいました。

▲「成瀬お助けたい」、「鞍掛台 買物・外出支援プロジェクト」のご報告の様子

2019年度の懇談会で話されたこと

多世代交流活動で地域を元気に！

「成瀬鞍掛スポーツ広場管理運営委員会」、「NPO法人町田市つながりの開」、「南第3高齢者支援センター」から多世代交流活動の事例紹介を行い、「地域を元気づけるためにあったらいい多世代交流活動」とそれらを実現する方法について話し合いました。また、多くの参加者から「つながりリスト」の更新に同意いただきました。

▲事例紹介の様子

▲結果共有の様子

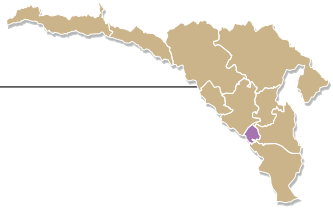
地域にあったらいいなと思う多世代交流活動

- サロン、お茶会
- 子ども、学生との交流
- 見守り、相談、支援
- 食事会
- 防災活動、災害時の行動
- 場所・施設
- 運動、スポーツ
- 町内会・自治会活動
- 話し合う場
- 趣味活動
- 地域活動、清掃活動
- 参加の足の確保
- イベント
- 教室、講座
- 交流会
- あいさつ
- 生活支援
- 高齢者（大人）が若い世代（子ども）に教える
- 子育て支援

多世代交流活動を実現するためにできること

- 場所の確保
- ふだんからの交流
- 情報共有・情報発信、広報・宣伝
- 声かけ、人を誘う・探す
- 学校との協働
- 参加しやすいしくみづくり
- 資金集め
- イベント実施に向けた工夫
- 町内会・自治会活動の活性化
- イベントの内容
- 子ども会の活性化
- 清掃活動を行う

9 町田第一地区　原町田1～6丁目



テーマ

安心安全のまちづくりに向けた住民同士のつながりづくり

～防災マップづくりに向けたまち歩き～

2019年度までに取り組んだこと

2018年度の懇談会では、地域のつながりづくりを考えるにあたって、災害や防災の視点で話し合いました。

- 参加者の多くから、「近隣同士顔の見える関係づくり」、「町内会・自治会活動への参加」といった、普段からの顔の見える関係づくりの必要性や、「災害防災に関する情報共有」や「災害マニュアルの準備が必要では」といった意見が出ました。
- 地域内での防犯防災マップづくりを進めていきます。

今後の方向性

- 地区別懇談会で実施したまち歩きの結果をまとめます。

具体的取組

- 原町田地区協議会と連携しながら防災マップを作成します。

2019年度の町田第一地区　地区別懇談会

地域の防災に関する情報共有に向けて、防災マップの作成を目指します。2019年度の懇談会では参加者の皆さんで3つのグループに分かれてまち歩きを行いました。

災害時に役に立つ箇所や危険箇所などをチェックしながら、気が付いたことをメモに取ったり、写真に記録しました。まち歩き終了後、確認できたことを、グループのメンバーで意見を出し合いながら大きな地図に書き込みました。

▲消火ホースの確認の様子（Aグループ）

▲まち歩きの様子（Bグループ）

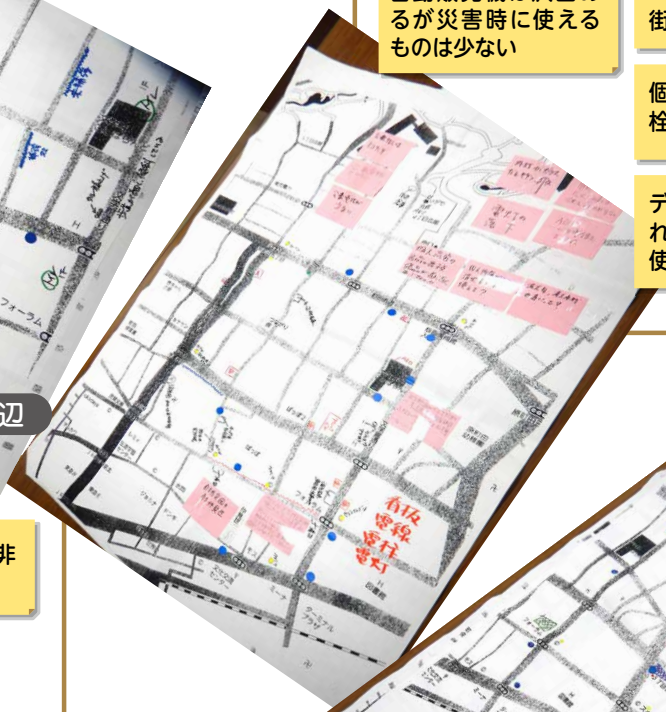
▲防火水そうの確認の様子（Cグループ）

防災まち歩きの内容

Aグループ……原町田４丁目周辺

気づいたこと

- 自動販売機は沢山あるが災害時に使えるものは少ない
- 公衆電話が少ない
- 街灯がガラスだと危険
- 個人所有ビルの消火栓は使用できるのか
- デパートなどに設置されているＡＥＤを1日使用できるように



Bグループ…原町田５丁目・６丁目周辺

気づいたこと

- 災害対応の自動販売機の数が少なかった
- 外の公共トイレが非常に少ない
- 災害時に駅前の混雑が凄そう

Cグループ…原町田１丁目・３丁目周辺

気づいたこと

- 寺は避難所につかえるのか
- 昔ながらのブロック塀は危険
- 境川氾濫で浸水の危険

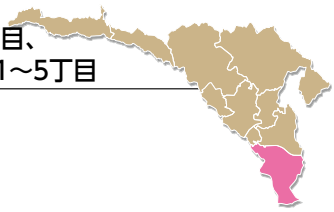
私の宣言

懇談会に参加した方に「災害時のために自分ができること・これから取り組みたいこと」を書いていただきました。いざという時に助け合えるよう普段からのつながりづくり、地元の町内会で今一度防災についての検討や確認、まち歩きをして防災資源の再確認、が大切であるという声が多く出ました。

- 町内会に防災・減災に関する提案ができればと思います
- 今日の懇談会を町会で話してみる
- 日頃から地域の方々とのつながりを大切にしたい
- 町内会・自治会・老人会への加入促進の為にできる事を考える
- 町田街道のポイ捨てのごみ拾いや花壇づくりを継続していきたい
- 4月に開園した保育園の職員ですが、できる事は何かを今一度園で話し合いたい
- 町内に見守り対象者が多いので大災害時にどういう援助ができるのか考えていきたい

10 南地区

小川1～7丁目、金森1～7丁目、金森東1～4丁目、つくし野1～4丁目、
鶴間1～8丁目、成瀬が丘1～3丁目、南つくし野1～4丁目、南町田1～5丁目



テーマ

いくつになっても活躍できるまち・南

２０１９年度の懇談会開催に向けて

- 地域の方々のマンパワーを地域づくりに活用する。
- 地域の元気な高齢者を、どうやったら地域活動に参加してもらえるかを考える。
- 近所の高齢者をはじめ地域の方を、地域活動に誘うために何ができるのかをみんなで考えていく。

地区別懇談会で事例報告していただきました

むかし語りの会

主に７５歳以上の方を対象に回想法を取り入れた認知症予防活動を行っています。第２月曜日に開催しており、男性も女性も元気に参加しています。「心に残る行事」「昔遊びの思い出」など毎回異なるテーマに沿って、ご自身の思い出を話し記憶を呼び起こしています。会の終了時に次回のテーマをお伝えすると、皆さん事前に調べて意欲的に参加しています。スタッフとの異世代交流にも繋がっています。

地域支援スタッフ

地域住民がメンバーとなり、町田市内の小中学校の車いす・アイマスク体験の授業のお手伝いをしています。シニア世代の方もたくさんボランティアとして関わっており、レクチャーだけでなく子どもたちが安全に体験できるよう体験中の見守りも行っています。子どもたちに障がいについて理解を深め自分たちに何ができるのかを考え、福祉体験を通して思いやりの心を育てています。

介護予防サポーター

町田市の介護予防サポーター養成講座を受講し、介護予防普及啓発活動や介護予防活動に関わるボランティアとして、多くのシニア世代も参加しています。高齢者支援センターと連携しての様々なイベントの企画や実施、町田を元気にするトレーニングなど自主グループの運営、みんなでごはん（子ども食堂）での多世代交流など、地域に貢献するやりがいのある活動がたくさんあります。

2019年度までに取り組んだこと

- 2018年度までの地区別懇談会では「地域でできる子育て支援」について話し合い、その結果を踏まえ「見守り」「日頃からの挨拶、声かけ」「多世代交流」といった、地域のつながりから子育て支援を進めています。
- 子ども食堂や、子どもの学習支援、子育てサロンなど既存の地域資源への支援を行いました。

今後の方向性

- 多世代交流を進めながら、シニア世代の社会参加や子育て支援を進めていきます。

具体的取組

- 新たな多世代交流の取組を進めていきます。
- 引き続き、既存の地域資源への支援を継続します。

2019年度の南地区　地区別懇談会

2019年度の懇談会で話されたこと

知り合いや友人からのお誘いから地域活動に参加しやすくする

当日の3つの団体からの事例報告では、シニア世代の地域活動への関わりについて、担い手側と、参加者側の立場から話をしていただきました。その後、「近所の高齢者が地域活動に一歩踏み出すためにできること」について話し合いました。「知人・友達と一緒だと安心して参加できる」「気軽に参加できる雰囲気づくりなど、地域活動へのハードルを低くする」「どんな活動があるのか知ってもらうための情報発信・宣伝などが必要」といったご意見が出ました。

▲話し合いの様子

近所の高齢者が地域の活動へ一歩を踏み出すためにできること

誘い合う、声かけ
- 口コミ
- 電話で誘う
- 親しい人を通じて誘う
- 友達に誘ってもらう
- ご近所同士の声の掛け合い

ハードルを低くする
- どんな人でも入りやすいグループ
- 気軽に参加できる環境をつくること
- 前歴を自慢しないようにする

きっかけづくり
- 定年後の男性が地域に出てくるきっかけ
- 自分に何ができるか伝えること
- 社会福祉協議会に来てもらう、ボランティア登録

趣味活動
- 音楽・ダンス（施設で発表）
- 地域のサークル活動への参加
- 楽器、三味線
- カラオケ
- 麻雀

集いの場、サロン
- 近所に気軽に話せる場を作る
- 歩いて行けるところに集まる場
- 気軽にお茶飲み
- ふれあいサロンを作る
- 独居の方、家族とご一緒の方でも昼間はひとりぼっちの方の井戸端会議の場所

多世代交流
- 小学校へのボランティア参加
- 自治会内で地域の子どもたちに遊びなどを教える
- 小学校との連携
- おやじの会（現役＋OB）
- 子どもつながりで地域に出る

運動
- 町トレの実施、仲間づくり
- 公園でのラジオ体操的な軽い運動
- ボッチャ、卓球
- 介護予防の運動や活動
- 健康教室

生活支援、お手伝い
- 介護保険の谷間を支えるボランティア（有償）
- 有償ボランティア活動（家事援助）
- 買い物支援

町内会・自治会活動
- 町内会・自治会への入会
- 町内会・自治会行事への参加

地域活動
- 道路の清掃
- 老人会への参加
- 地域パトロール

相手の心情考える
- 無理強いをしない
- 「高齢者」という言葉を使わないで誘う
- 相手の心情を考えた呼び方
- 先輩に頼るという姿勢で誘う

自分ができること
- 前向きに生きる
- 健康でいる
- 一日に一回笑う
- 一歩外に出る

情報共有・情報発信、広報・宣伝
- 参加した活動の情報共有
- 情報ネットワーク
- 広報誌での活動紹介
- ケアマネジャーが社会資源・活動につなげる
- 地域イベントを一覧で分かるようにする

男性向けの対策
- 男性が活躍しているグループを紹介
- 家族介護者交流会の男性の会を紹介
- 生涯学習のような講座を紹介

特技や能力の発掘
- 得意なこと好きなことを教えてもらう
- アンケートで活動意欲のある人をフォロー
- 現役時代の技術を引き出す

教室、講座
- 生涯学習のような講座
- PC・スマホのお困りごと相談

あいさつ
- 挨拶をする
- 隣近所の方に声かけをする
- 隣近所に声かけ、顔見知りになる

防災活動、災害時の行動
- 防災訓練の家庭（自宅）参加
- 独自の防災活動＋近隣自治会との協力

その他
- 町田市で今何が問題か話し合う
- リーダー育成
- 参加の足の確保

イベント、外出の機会をつくる
- 地域の施設見学
- お花見
- バス旅行
- 楽しい会を行う

地区別懇談会で多くの方の意見を伺いました！

資源マップを
みんなで作ろう！

みんなでまちを
歩いて防災意識を
高めよう！

地域でお父さんが
活躍できる場を
考えよう！

自分ができること
から支え合いを
考えよう！

地域のイベントで
つながろう！

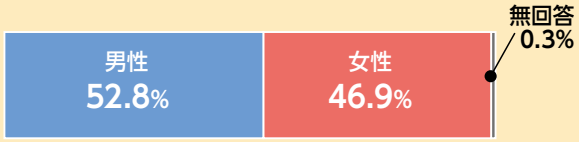
みんなで誘い合って
地域の活動に
参加しよう！

ニュースポーツで
多世代交流！

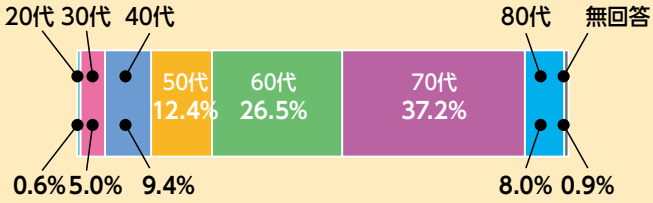
地区別懇談会の参加者アンケート結果

参加者アンケートには、339人の方がご回答くださいました。

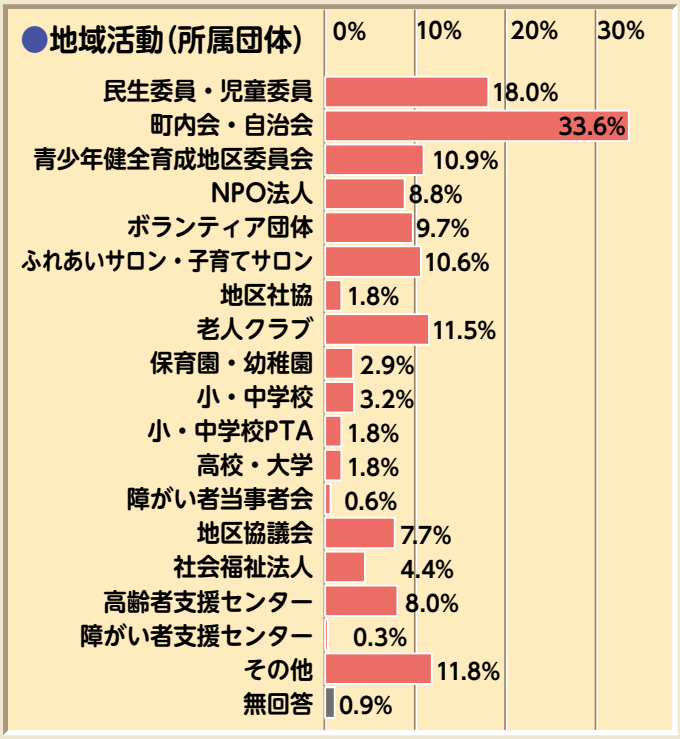
●性別



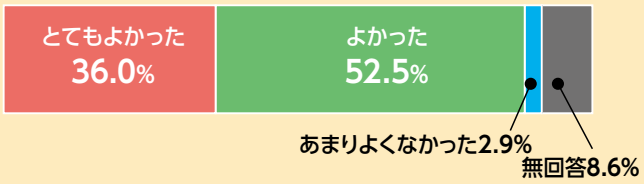
●年代



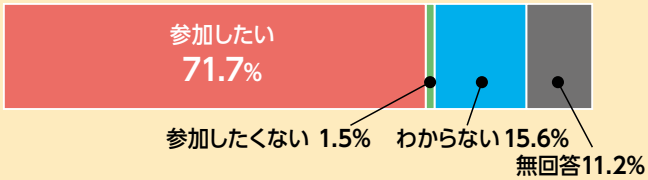
●地域活動（所属団体）



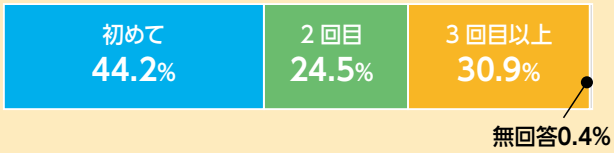
●満足度



●今後の参加意向



●地区別懇談会への参加回数※



●地区別懇談会で新しいつながりはできたか※

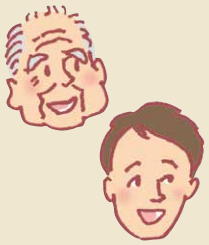
※参加者アンケート変更の都合上、玉川学園・南大谷地区、相原地区、木曽地区では、この質問をたずねていません。

自由回答もたくさんいただきました！

皆さんが地域の為に、少しでも良くしたいという思いを感じました。

町内の中で、人ができる事、資源がこんなにある事に感心した。

回を重ねる度、建設的、現実的になって頼もしい。



地域のイベント等が見えて、今後の活動に活かせて行きます。

年に一度だが、自分自身の地域での役割が分かり始めた。

若い人の現状を生の声で聞き、参考になりました。

みんなで支えあって
いいこと
ふくらむ
まちだ

町田市社会福祉協議会
イメージキャラクター
「あいちゃん」

第3次町田市地域福祉計画
町田市社会福祉協議会 第四次地域福祉活動計画
地区活動計画 2019年度版

発　行　2020年3月
町田市地域福祉部福祉総務課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
TEL：042-724-2133（直通）　FAX：050-3101-0928